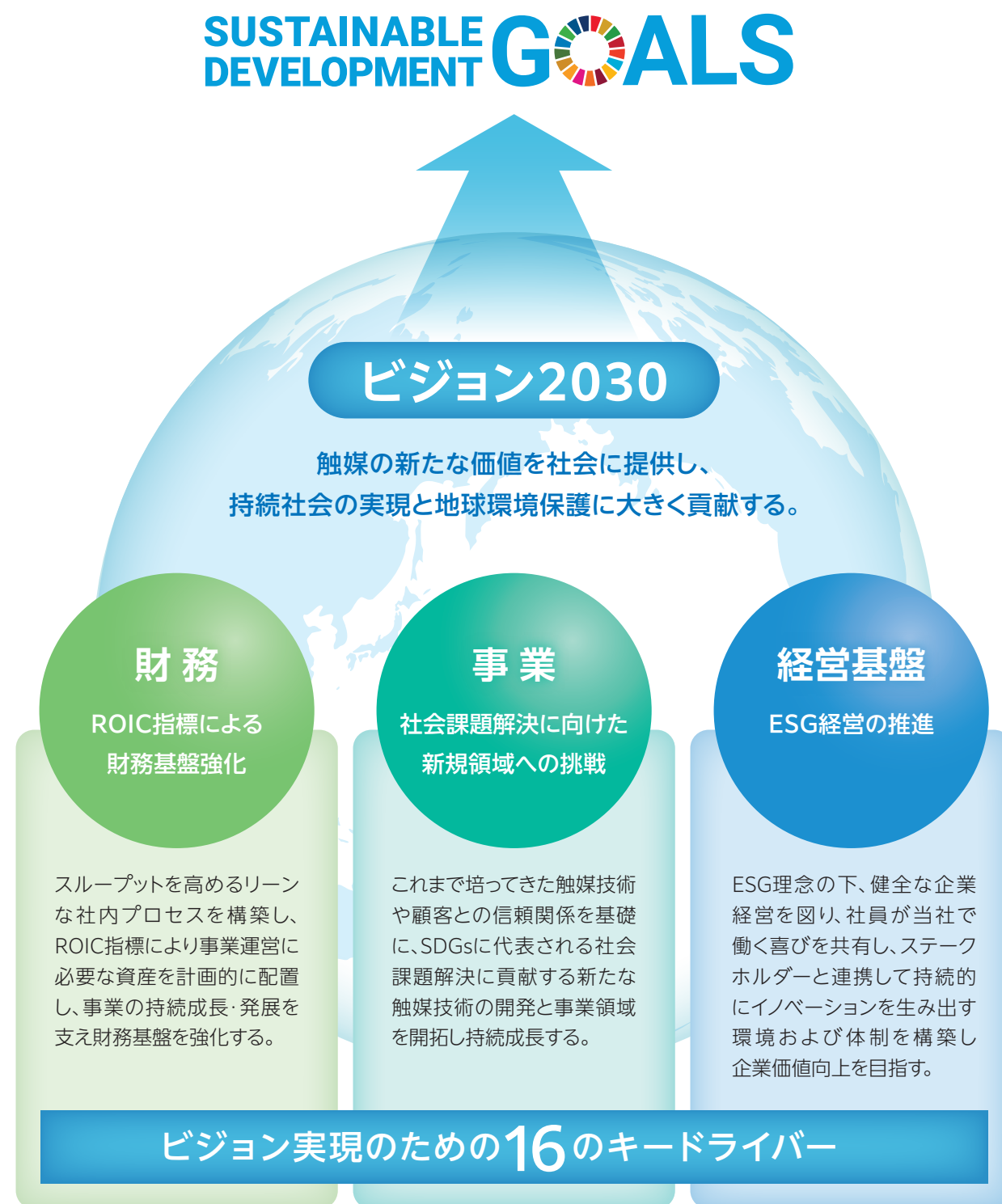


長期ビジョン

2050年の社会環境を見据え、SDGsに代表される社会課題の解決に向け当社は、「ビジョン2030」を掲げ、財務・事業・経営基盤という3つの視点から、当社のありたい姿を可視化し、ビジョン達成に向け取り組んでいます。



企業活動を通じた環境負荷の低減、社会との連携強化、法令を遵守した透明性のある健全な企業経営の推進といった企業の社会的責任(CSR)履行という観点にとどまらず、昨今は企業にも社会課題解決への積極的な貢献が求められています。

当社が扱う触媒は、石油化学や自動車、医薬などの幅広い産業にて活用され、産業の発展を支えるとともに、自動車排出ガスに含まれる有害物質の無害化など、環境問題の改善に寄与してきました。近年さらに深刻さを増す地球温暖化や海洋汚染、食料問題などの社会課題解決の

貢献においても触媒は大きな役割が期待されています。そこで当社は、財務・事業・経営基盤という3つの視点から当社のありたい姿を可視化し、中長期目標として「ビジョン2030」を掲げ、取り組みを進めています。

そしてこの「ビジョン2030」の実現に向けて必要となる社内体制の整備や変革を図るため、会社の基盤や仕組みとして「16のキードライバー」を定めています。これらのキードライバーを一つひとつ確実に実行することで、触媒の新たな価値の提供を通じた持続社会の実現と地球環境保護へのさらなる貢献を目指しています。

ビジョン実現のための「16のキードライバー」

財務

- 1 ROIC指標を軸とした経営管理プロセスおよび財務基盤の強化

事業

- 2 現行ビジネス強化・新規ビジネス創出のための事業推進体制の再構築
- 3 新領域開拓と新技術(製品)開発の推進
- 4 マーケティング機能強化およびバリューチェーンの最適化
- 5 DX活用等による開発プロセスの効率化と新技術創出
- 6 プロセスエンジニアリング機能強化によるリーナな生産プロセスの構築
- 7 LSS(リーニシックスシグマ)活動推進による全般的な工程の改善
- 8 調達機能強化および健全なサプライチェーンの確保
- 9 貴金属管理プロセスの最適化
- 10 DXの全社展開を推進する体制の構築

経営基盤

- 11 事業活動全般における環境負荷物質の低減、環境事故・労災防止の徹底
- 12 貴金属・化学物質管理の強化
- 13 RC(レスポンシブル・ケア)活動の推進
- 14 適切な情報発信・対話によるステークホルダーエンゲージメントの強化
- 15 積極的なチャレンジを促進・支援する人事システムの構築
- 16 ESG経営の推進および活力ある職場環境の実現